

# SPES2011 開催される

平成23年7月27～28日の二日間、『SPES2011—未来を創るソフトウェアイノベーション—』が秋葉原UDXカンファレンスで開催された。登録者240名、二日間の延べ参加者数は400名を超える。今年度で9回目の開催である。

昨年度まで、SPESはプロセス改善を中心にセッションを構成してきたが、今年度から要求工学やサービス化、人材育成など、ソフトウェアエンジニアリング全般に亘ってテーマを取り上げ、JISAの技術シンポジウムとして最大のイベントとなった。

セッションは全部で32あり、内訳は基調招待講演3本、チュートリアル2本、ワークショップ2本、パネルディスカッション2本、テクニカルセッション3本、JISAセッション5本、事例研究15本、そのほかに情報交換パーティ、表彰式を含む全体講評会も行われた。当日のプログラムは、SPESウェブサイトを参照されたい。

[http://www.jisa.or.jp/seminar/SPES\\_index.html](http://www.jisa.or.jp/seminar/SPES_index.html)

なお、SPESでは例年2月から4月にかけて、経験報告または論文を公募している。今年度は21件の投稿があり、SPES企画WG委員全員の査読を経て15件が採択され、今回事例研究セッションで発表が行われた。これらの採択論文に対して、技術委員会はベストプラクティス賞とベストプレゼンテーション賞の二賞を授与した。今年度は各賞2件ずつ表彰された。

## ◆ベストプラクティス賞

『トレーニング指向アプローチによるプロセス改善

—現場のキーパーソンを育てる「現場SQA」方式—』

株式会社デンソークリエイト 竹下 千晶

『要件定義の生産性を向上させるための最適化への取り組み』

東芝ソリューション株式会社 位野木 万里

## ◆ベストプレゼンテーション賞

『人間科学と工学のアプローチによる要求獲得の質を上げるためのインタビュー手法の開発』

富士通株式会社 矢島 彩子

『人が作るソフト ～経験的な開発手法の実践事例～』

リコーITソリューションズ株式会社 福田 朋紀

(鈴木)